

まなびの広場
稲進会
教室通信

彩色いろいろ

「子どもへの願い③」

『自分のために勉強しなさい』は共同体感覚につながるのか？

とすることで終わった先月の続きです。

※共同体感覚…自分と相手の二人以上の関係性の中で、相手のために自分はどうすれば役立てるのかという感覚のこと。

右の図はアメリカの心理学者アブラハム・マズローがとなえた『欲求の5段階説』を表したものです。

- ①生理的欲求…食べる、ねるなど生きていく上で欠かせないものを求める。
- ②安全欲求…明日、明後日の生活が無事おくれる状態を求める。
- ③愛と所属の欲求…誰かと一緒にいることを求める。
- ④承認欲求…他人から認められたい。
- ⑤自己実現欲求…自分の望むことを行いたい。

左右の矢印に注目すると、欲求の段階が上がるとうえるために必要な視点が、「自分」から「誰か」に変わっていくことがわかります。

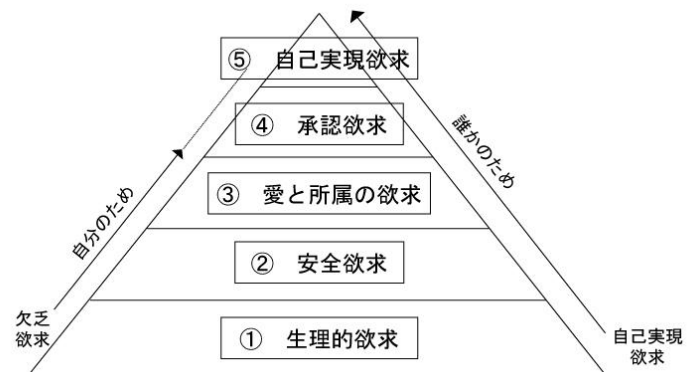
アドラーにしろマズローにしろ、人が充実した人生をおくる上で欠かせないのは、誰かのために役立つとする意識を持つことだと言っています。

ただ、いきなり誰かのために役立つのか？生まれたばかりの赤ん坊は誰かの役に立てるのでしょか？笑顔や寝顔で、周囲の人の心を和ませることができるとも言えます。でも本当に限られた人だけです。年齢を経る中で、様々な経験を積み、努力をし、人として成長することで、より多くの誰かの役にたてるようになるのです。

ですから、子どもに対し大人が言う「勉強は自分のためにしなさい」もそれはそれでいいのだと思います。

「自分の成長のために、たくさん勉強してたくさんの知識を身につけよう！努力し続けよう！そして一人でも多く誰かの役に立てるようになろう！」

と「勉強ってなんですか？」、「こんなことしたって将来役立つの？」と言葉をもらす生徒に時折語っています。



教室の風景

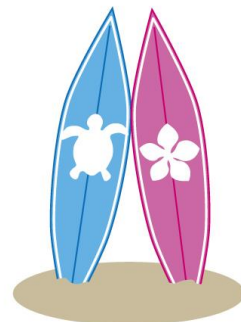
匠の作品

早いもので今年もあと2ヶ月と少々。

我が家のニュースとしては、息子が一年生になり、私39歳で、ロングボード始めました！
座骨神経痛、ヘルニアなどがあるもののやっぱり身体を動かすと疲れが吹っ飛び、しかも残りにくくなるんだなとひしひしと感じております。最近は寒さに負けて行っておりませんが……。

そんな中、日々のレッスンでは相変わらず毎回私が一番楽しませてもらっています
色んなお子さんとのレッスンでは色んな気づきがあります。

例えば用意していたカリキュラムに対しどうしても乗り気じゃない場合、50分のレッスンを夢中で楽しくしてもらうために私は瞬時に切り替えます。ただし、用意しておいたカリキュラムのポイントは切り替えたレッスンに混ぜ込ませます。



すると、まあ～何て事でしょう、匠(=生徒の皆さん)はこうして次から次へと無理難題を押し付ける依頼者からの問題に真剣に取り組み、限られた時間の中、あっと思わせる作品を作り上げていきました。

依頼者39歳山本は、「本当に信じられないです。まさかこんな風に素晴らしい物になるとは思ってもおりませんでした！これからも日々この空間でそんな素敵な出来事をワクワクしながら楽しみにしている」と語っておりました。

以上、これから寒くなっていますが体調管理はバッチリでレッスンも楽しみながら色んな匠たちの作品を見ていきたいと思います。

インストラクター 山本英美

10月作品紹介



動物園ではなく、動物自身が楽しめる遊園地です。

発想が面白い！！



『ベルトコンベア』

右下のレバーを回すと、品物がどんどん運ばれていきます。



『お花畑』

たくさんの綺麗な花が咲いています。見ているとホッとできる作品です。